

2019年度 第5回 千葉県支部役員会 議事録

日 時:2019年8月31日(土) 18:00~20:00

場 所:千葉市民活動支援センター会議室

1. 幹事出席状況確認(□出席、△欠席・委任状提出、■欠席) ※2019年度新任幹事

□川畑真一支部長、△秋田義一、□秋元英郎、△板谷真積※、△今住則之、△大柳規幸、△太田望斗※、

□岡部信也※、□岡部政美、△河北慶介、△木村敏弘※、□熊田成人、△志澤達司、■進藤秀明、

□竹田雅美、□西田 宏、△尾頭 誠、△保坂俊雄、□松井隆、△松本洋一※、

□向原文典※、□山村央※、□山本陽一 出席オブザーバー: 小波盛佳

以上、委任状提出者も含め計22名(出席11名、委任状提出11名)の幹事が出席し、支部役員会は成立。

2. 議事概要

[審議事項]

(1) 役員会議事録の作成について

議事録作成書記は西田幹事、議事録署名人は岡部信也幹事及び向原幹事が指名・承認された。

(2) 2019年度第4回役員会議事録(案)の確認(資料5-1)

原案通り承認された。議事録(案)の(案)を削除し、HPに掲載する。

【委員会・チーム活動報告】

(3) 川畑県支部長報告(資料5-2)

① 千葉県支部人事: 技術士会規則に則り県支部長が下記を提起し、承認された。

副支部長を増強(2名→3名)、現行山本、熊田両名に続き志澤氏を新任する。

松井隆前支部長/現幹事→支部特別顧問=名誉支部長、保坂前副支部長/現幹事→支部参与

② 7月17日に本部より拠点整備費400千円(金額は各支部所属員数に応じる模様)が追加配布された。次年度以降も継続。支部活動のさらなる充実に資すること大。→委細(4)項参照

③ 県支部活動の新聞掲載3件: 年次大会(7月15日@ホテルプラザ菜の花)や直近CPD行事を紹介日刊建設新聞(7月23日、8月6日各1面)、日刊工業新聞地域面(7月24日)

④ 賛助会員建設技術監査センターから求人用務での県支部同報メール利用要請あり。→承認した。

今後も賛助会員からのこの種の要望に応えるべく、ガイドライン案を広報委員会が作成する。ACT1

⑤ 本部「技術士資格活用委員会」の産業界向け広報誌作成に向け、県支部概要情報(カタログ等)を提出する。

*上記とは別に、県支部カタログ(前版2016年)更新版作成を発動。委細は広報委員会預かり。ACT2

⑥ 県支部長出席予定として、資料5-2に以下を追加する。

11月15日(金)県内技術士4団体合同勉強会(事務局;千葉県庁技術士会)

(4) 総務委員会報告(山本委員長) 千葉県支部2019年度改訂予算(資料5-3)

① (3)②を踏まえ前回発表(7月6日)予算を資料のとおり改訂した。

・拠点整備費400千円は地域組織活動費収入(16行目)に繰り入れ、1,339千円とする。

・地域組織活動補助費収入(17行目)は防災・科学教育支援申請値満額取得230千円増630千円

この収入増は支出の部で防災・科学教育支援対外活動促進費に概ね連動。旧500千円→700千円

・前期繰越収支(50行目)は最新情報で旧△66千円→28千円

② 今回改訂予算でも拠点整備費400千円は丸々手つかずのまま。各委員会・チーム毎に今年度新規使途を10万円目途に次回役員会までに提案のこと。

ACT3

- ・補足：川畑県支部長は日本建設新聞の新規年間購読(月 8,500 円税別)を提案
 - ・尚、財政非常事態下で自弁としていた役員会出席交通費は、今回合合から支給を復活する。
- ③年次大会の案内状の送付先リストが来年以降の参考用として紹介された。

(5) 企画委員会報告(熊田委員長) 2019 年度 CPD 予定・実績(資料 5-4)

- ① 前回以降第 74 回(7 月 15 日ゴム規格)第 75 回(8 月 3 日産業界高精度時刻同期)と続き、直近予定は第 76 回(9 月 7 日恒例防災講演会)、これから案内を出す第 77 回(10 月 25 日先代南極観測船しらせ見学)と続きます。

(6) 広報委員会報告(秋元委員長) (資料なし)

- ① 次回会報は 9 月末発行予定。巻頭言は志澤氏・新任副支部長が執筆する。
- ②新年度委員会体制は増強・若返り。業務の分掌・充実を図っていく。
- ③技術相談チームから相談件数を増やすための対策について相談があった。千葉県支部の認知度向上、技術相談の告知方法、相談員の紹介等の対策が考えられるが、千葉県支部のサイト内に相談員の紹介ページを作成するところから始めたいということで合意した。委細は技術相談チームと広報委員会預かり。

ACT4

(7) 産官学連携チーム(岡部信也チームリーダー) (資料なし)

- ① ご挨拶)新人として、チーム内外の方から教わりつつアグレシブに活動させていただきます。

(8) 防災支援チーム(岡部政美幹事) 千葉県災害復興支援士業ネットワーク規約(資料 5-5)

- ① 本規約は 12 の士業団体が参集、2回の検討会合を経て確定、各団体承認手続きの段階にある。既に千葉県弁護士会等 8 団体承認済。→日本技術士会千葉県支部も承認した。
規約制定・正式発足は残り団体の動向を見据え、10 月以降の見通し。
- ② (川畑支部長補足)本ネットワーク・窓口の一本化は、弁護士会が他県の状況を視て設置を提案したもの。任期 1 年初代会長は弁護士会、副会長に千葉県支部が連なる。第 11 条に平時からの(防災に限らない)士業団体間の交流活動を規定・根拠づけさせたのが「成功」であった。

(9) 科学教育支援チーム(西田チームリーダー) チーム活動報告(7 月 7 日以降)(資料 5-6)

- ① 特に長生高校 RaspberryPi 活用環境教育研究への技術支援は、スポットでなく年度内継続かつ IoT 活用の最前線分野にある新機軸である。本部黒澤氏も 8 月 29 日の会合で興味をもたれ、本件主務の中島技術士を招聘した RaspberryPi 活用意見交換会を本部として企図される由。
- ② チーム活動が(再び)学校教育現場に浸透し始めているが上位の教育委員会ラインとのチャンネル確立を期待する。(松井名誉支部長)→ 教育系大学ラインへの接触を含め検討します。(西田) ACT5
- ③ 活動内容が充実してきたが、HP 上の発信は年 1 回の年度活動報告 PDF 版しかない。もっと発信力を強化すべきと思うが如何(秋元委員長)。→ ((6)③等と合わせ)具体要領を検討します。(西田) ACT 6
- ④ 当チームのイベント利用他、県支部各位のニーズに即し、ショートプレゼン用プロジェクター及び同スクリーンの購入を提案する。→承認した。購入担当は西田チームリーダー。委細及び総務委員長と調整を一任 →対象製品は資料掲載品基準、予算枠約 50 千円(西田)→了承(山本総務委員長) ACT7

(10) 技術者教育支援チーム(小波チームリーダー) NMR パイプテクター問題の経過報告(資料 5-7)

- ① 本テーマは、7 月 15 日の年次大会の折、エセ科学への倫理的対抗として紹介しているが、SNS を通じ朝日新聞の N 記者(オピニオン編集部)が興味を持ち、ネットニュース「論座」への掲載を企図。8 月 29

日@県支部事務所で初回会合を実施(同氏、小波、山本副支部長)。くだんのNMR会社への取材実現等まだまだ課題が多いが、技術士側としても技術倫理に係る是正すべき社会問題として、フォロー・注力していく。

- ② 技術士会に閉じず千葉県災害復興支援士業ネットワーク第 11 条を活用し輪を広げてはどうか。弁護士会であったり、マンション管理士会であったりと。(秋元委員長他)→川畑支部長預かり。 ACT8

以上

[配付資料]

(資料 5-1)2019 年度 第 4 回 千葉県支部役員会議事録(案)

(資料 5-2)支部長報告

(資料 5-3)総務委員会資料 千葉県支部 2019 年度改訂予算／年次大会案内状送付先一覧(備忘用)

(資料 5-4)企画委員会資料 2019 年度 CPD 予定・実績

(資料 5-5)防災支援チーム資料 千葉県災害復興支援士業ネットワーク規約

(資料 5-6)科学教育支援チーム活動報告(7月 7 日以降)

(資料 5-7)小波盛佳 NMR 問題の経過報告 朝日新聞によるインタビュー(8 月 29 日)&補足の覚え資料

議事録作成者

西田 宏

議事録署名人(署名捺印省略)

川畑 真一

岡部 信也

向原文典